**M.A.D.EDITIONS✕ジャン・シャルル・ドゥ・カステルバジャック**

**M.A.D.1「Time to Love」**

**公表禁止**2024年4月3日

**M.A.D.1に初のクリエイターとのコラボレーションモデルが登場します。今回の時計を手掛けたのは、フランスの伝説的アーティストでデザイナーのジャン・シャルル・ドゥ・カステルバジャック（JCDC）です。**

「ジャン・シャルル・ドゥ・カステルバジャックは50年にわたり創作の世界に身を置いてきた人物です。キャリアの初期から独自の世界観とスタイルを築き、その後、時代とともに変化を遂げ、自らを改革し、現状に挑んできました。現在74歳となった彼の愛と人生にまつわるメッセージは、これまで以上に、新しい世代の模範となるものです。」マキシミリアン・ブッサー

**JCDCの人物像、神話、伝説**

1980年代、若き日のMB&F創始者マキシミリアン・ブッサーは、フランス人アーティストでデザイナーのジャン・シャルル・ドゥ・カステルバジャックが生み出す、鮮やかな原色を使ったアバンギャルドでポップなデザインに憧れを抱いていました。長年にわたり、JCDCの仕事を遠くから観察するにつれ、彼に対する尊敬の念はますます高まっていきました。JCDCは、アンディ・ウォーホル、キース・ヘリング、ロバート・メイプルソープ、シンディ・シャーマン、ジャン＝ミシェル・バスキアといったアーティストたちとのコラボレーションも果たしています。そんな素晴らしい仕事をしている彼への畏敬の念は深まるばかりでした。

JCDCは決して型にはまることなく、あえて撹乱し、破壊し、芸術的カオスを生み出し続けてきたデザイナーです。オートクチュールのデザイナーたちの多くが最高品質の生地を探し求める中、JCDCは寄宿学校の寮で使っていた古い毛布、モップ、スポンジ、油布など型破りな素材を使った服を制作し、ファッション界に初めて「アップサイクル（創造的再利用）」を取り入れました。アップサイクルという概念すらほとんど知られていない時代のことです。

50年にわたるキャリアを持つJCDCは、常に分野横断的なアプローチで制作に取り組み、異なる世界を結びつけながら、自らの芸術の可能性を押し広げてきました。おそらく最も知られているのは、その大胆な作品でしょう。代表作には、テディベアコート、「2人用ポンチョ」、バラク・オバマ・ドレス、そして1997年の世界青少年大会に際し、当時のローマ教皇ヨハネ・パウロ2世と教皇一行のためにデザインした法衣などがあります。

**50年、そして今もなお**

JCDCがアーティストとしてのキャリアをスタートさせたのは1968年。母親であるジャンヌ＝ブランシュ・ドゥ・カステルバジャックとともに既製服メーカー「コー・アンド・コー（Ko & Co）」を設立した時でした。その後、多くのデザイナーに才能を買われ、フリーランスデザイナーとして活躍してきた彼は、1973年に初のファッションショーを開催。一躍脚光を浴びることとなります。1970年代末にはパリ、ニューヨーク、東京にブティックを展開し、ファッション界に一大旋風を巻き起こしました。

1980年代から1990年代には、映画の衣裳やミュージシャンのステージ衣装を手掛けるようになり、さらには家具も制作。2000年代に入り、ファッション業界に戻った彼は、様々なコラボレーションを行いました。イノベーションにあふれたアバンギャルドなデザインアプローチにより、彼は何十年にもわたって絶えず自己改革を重ね、進化を遂げてきました。2018年から2022年までは、ユナイテッド・カラーズ・オブ・ベネトンのアートディレクターを務めました。

彼の芸術表現には、インスタレーション、パフォーマンス、チョークによるストリートアート、ドローイング、コラージュなどがあります。2021年から2022年には、パリのポンピドゥー・センター、キッズギャラリーで彼のアート作品を主題とした展覧会『The People of Tomorrow』が開催され、その後この展覧会は2023年には上海の西岸美術館、2024年2月にはスペインのポンピドゥー・センター・マラガへと巡回しました。

2023年にはフランスの陶器メーカー、ジアン（Gien）のためにドローイングコレクションを制作しています。

**一歩踏み出さなければ、何も始まらない**

若い頃からJCDCの大ファンだったマキシミリアン・ブッサーはお小遣いを貯めて、JCDCがデザインしたパンダ柄の水着を購入しました（マキシミリアンのパンダ愛はここから始まったのかもしれません）。それから40数年が経ち、マキシミリアンは思い切ってJCDCに連絡してみることにしました。もしかしたら、共同で時計をデザインするというアイデアに興味をもってもらえるかもしれない、と考えたのです。なにしろJCDCは、普段は関わり合いのない2つの世界を組み合わせることで「アクシデント」を生み出すエキスパートなのですから。マキシミリアンは、運試しのつもりでインスタグラムでDMを送ってみることにしました。この素晴らしいコラボレーションは、そこから始まったのです。

**M.A.D.1 「Time to Love」**

当初は、MB&Fのオロロジカル・マシンのコラボレーションモデルを制作する予定でしたが、開始後すぐに、JCDCのデザインのキャンバスにふさわしいのは、より手に取りやすいサブブランドM.A.D.Editionsのモデル「M.A.D.1」であるということに気づきました。M.A.D.1のローターに施されたラッカーによる装飾には、JCDCのシグネチャーカラーである「情熱のレッド」、「希望のブルー」、「人の温もりを表すイエロー」という象徴的な3色を採用。新たに設計されたこのローターでは、3つのウイングのうちの1つをほかの2つよりもわずかに重くすることで、回転を最適化しています。時間表示ディスクに用いられている鮮やかなグリーンは、JCDCの幼い頃の記憶と結びついた、特別な思い入れのある色です。

文字盤のベース部分にはJCDCの言葉がフランス語で刻まれています。「Ce trésor rare et précieux, c’est ta vie.Le temps vole de ses ailes blanches. Tu es le gardien de ton temps.」これを訳すと、次のような意味になります。「この稀少でかけがえのない宝物、それはあなたの人生。時間は、白い翼を広げて、あっという間に飛び去ってしまう。あなたの時間の番人は、あなた自身だ。」時間と分のリングには彼の手描きの数字が配され、リューズには、彼のアート作品によく登場する「月に語りかける人」のモチーフが刻まれています。ストラップはレザー製で、時計の名前「Time to Love」の刺繡が施されています。すべてのタイムピースにブラックとホワイトの2本のストラップが付属します。

JCDCの作品で常に大切にされてきたのは、流行ではなくスタイルです。それは、今後も変わることはありません。

「Time to Love」は単なるキャッチーな名前ではなく、作品を通して愛と平和と精神性を届けてきたこのアーティストの哲学そのものであり、今日、このメッセージの切実さは増すばかりです。

「私と時間との関係は独特です。タイミングが “早かったり、遅かったり” するのです。ビジョンを描くのは早いけれど、満足感は後から遅れてやってくる、という具合にね。ですが、愛に関しては、私はいつも時間に正確です」とジャン・シャルル・ドゥ・カステルバジャックは語ります。

M.A.D.1「Time to Love」は999本の限定生産となります。数量限定となるのは今回が初めてです。（これまでのエディションは数に制限を設けることなくロット生産し、抽選で当選した方に順次ご提供いたしました。）小売価格（税抜）は、3,200スイスフラン + 付加価値税となります。

数に限りがございますので、半数はMB&Fのトライブ（Tribe：ご登録済みのMB&Fコレクター）とフレンズ（Friends：サプライヤー）の皆様に先着順で、残りの半数については、「Time to Love」の購入を希望される一般のお客様を対象に、前回と同様のシステムで公平な抽選を行った上でのご提供となります。

**抽選へのご応募は、4月3日水曜日の午後2時（中央ヨーロッパ時間）より受付を開始し、受付期間は約2週間を予定しております。**

**M.A.D.Editions抽選ページ：**

<https://shop.madgallery.ch/products/m-a-d-editions-raffles>

**M.A.D.Editionsプレスセクション（高解像度写真および動画もございます）：**

<https://www.madgallery.net/geneva/en/press/mad-editions>